

これまでにご協力いただいた皆様

株主優待SDGs基金(16社)

岩井コスモ証券、エービーエヌ・アムロ・クリアリング証券、
SBI証券、岡三証券グループ、共和証券、光世証券、
Jトラストグローバル証券、大和証券グループ本社、
東海東京フィナンシャル・ホールディングス、
長野證券、中原証券、野村證券、
丸三証券、みずほ証券、水戸証券、楽天証券



こどもサポート証券ネット(55社)

アーク証券
アイザワ証券
あかつき証券
安藤証券
いちよし証券
岩井コスモ証券
SMBC日興証券
FFG証券
FPL証券
岡三証券
岡三にいがた証券
岡安商事
九州FG証券
共和証券
極東証券
光世証券
KOYO証券
ゴールドマン・サックス証券
Jトラストグローバル証券

七十七証券
島大証券
証券ジャパン
だいこう証券ビジネス
第四北越証券
大山日ノ丸証券
大和証券
立花証券
ちばぎん証券
東海東京証券
東洋証券
徳島合同証券
内藤証券
中原証券
ナティクス日本証券
西日本シティTT証券
西村証券
日産証券
ばんせい証券

武甲証券
北洋証券
益茂証券
松井証券
丸國証券
丸三証券
三木証券
みずほ証券
三津井証券
三菱UFJモルガン・スタンレー証券
水戸証券
むさし証券
明和證券
めぶき証券
山和証券
楽天証券
リテラ・クレア証券

※協力会員数は取組開始時からの延べ数です。
(50音順)

こどもの未来応援基金(113社)



日証協ウェブサイトにてご覧いただけます。

問い合わせ先

日本証券業協会 SDGs推進室
Tel. 03-6665-6783



証券業界は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

(2023.7)

証券業界は社会課題の解決に 取り組んでいます！

～次世代のために証券業界ができること～

日本、そして地球規模で、“こどもの貧困”をはじめとする多くの社会課題が発生しています。
それらの解決に向けて、証券業界では「株主優待SDGs基金」、「こどもサポート証券ネット」、
「こどもの未来応援基金」という3つの支援活動を行っています。

「未来への投資」新たなスタートに向けて

証券業界では、社会課題の解決(SDGs)に向けて、様々な取組みを実施しています。会員各社におかれましても、これまでに多くの取組みを進めてこられたことと思います。

しかし、2030年という期限が近付いてきた現在でも、多くの社会課題が解決する兆しは見えていません。特に、未曾有のコロナ禍、経済情勢の変化を経て、こどもの貧困を取り巻く環境は厳しさを増しています。

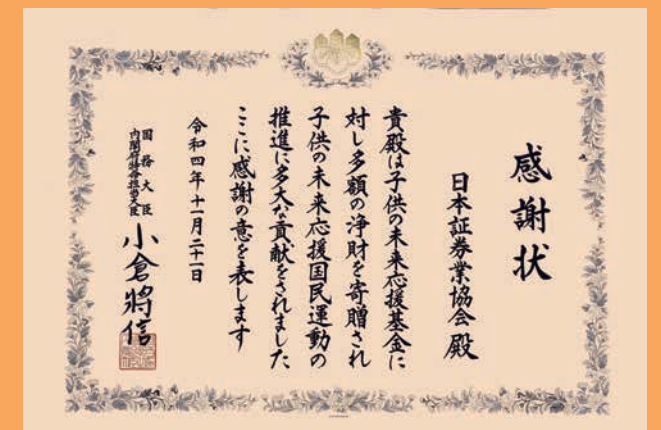
次世代に明るい未来をつなぐための取組みはまさに「投資」そのものです。トップのコミットメントを高め、コツコツと継続していくことが何よりも重要と言えます。会員代表者の皆様におかれましては、証券業界における取組みに一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

日本証券業協会 会長 森田 敏夫

◆小倉内閣府特命担当大臣より感謝状をいただきました。



(写真 左より 小倉内閣府特命担当大臣、日本証券業協会 森田会長 撮影・こども家庭庁)



2021年度に、株主優待SDGs基金を通じて「こどもの未来応援基金」(運営:こども家庭庁等)に寄付を行い、小倉内閣府特命担当大臣より、証券業界におけるこどもの支援に関する取組みに感謝状をいただきました。

証券業界における社会課題解決への3つの取り組み

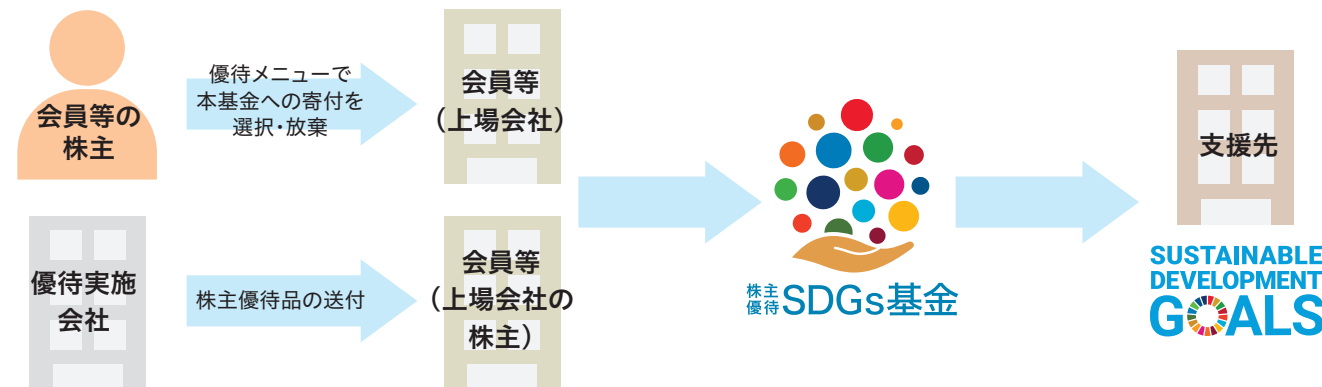
社会課題の解決は、私たちの子どもや孫、その先の世代がより良い暮らしを営むことができる未来につながります。

そのためには、代表者の強いリーダーシップのもと、それぞれができることから取り組むことが重要です。

1社でも多くの会員にお力添えを賜りたくお願い申し上げます。

1 株主優待SDGs基金(お金を寄付)

株主優待を活用し、国内外におけるSDGsの達成に取り組む機関に寄付する仕組みです。本基金では、株主優待を実施している会員等の株主が本基金への寄付を選択した場合の優待相当額や、会員等が受け取る株主優待品の換金相当額等を原資として、寄付金を拠出します。また、支援先は、ガバナンス体制が構築されており、資金使途の透明性が高い団体を、本協会会議体において選定しています。



2022年度の寄付金額 **31,394,553円**

●WFP国連世界食糧計画に寄付を実施

海外学校給食

約50万食分に相当



©WFP/Sayed Asif Mahmud

●こどもの未来応援基金に寄付を実施

こどもの未来応援基金事業に採択された

約140団体の

NPO法人等に支援



2 こどもサポート証券ネット(モノを寄付)

会員には株主優待品や災害備蓄品などの「モノ」をはじめとするリソースを登録いただきます。一方、NPO法人等には希望する支援を登録いただきます。定期的(週1回程度)にお互いの条件を確認し、合致(マッチング)したら支援を行います。この仕組みを通じて、こどもの貧困問題の解決に取り組む地元のNPO法人等にも支援することが可能です。



2019年12月からこれまでにマッチングした支援の例

米 約6,000kg

飲料 約7,200ℓ

レトルト・
インスタント食品 約27,000食



3 こどもの未来古本募金(古本を活用した寄付プログラム)

会員の本店支店などに古本を回収するボックスを設置いただき、顧客や従業員などが投函した古本を買取に出すことで、その査定額分を「こどもの未来応援基金」に寄付することができます。寄付金は、こども食堂や居場所づくりなどに取り組むNPO法人等の支援に活用されます。



2018年10月からこれまでに、約**16万冊**、**440万円**以上を寄付